２年生学年だより

令和７(2025)年 ４月 18 日(金 pp) 第４号
想　～仲間に広げよう～
吹田市立第二中学校 第二学年

離任式～去られた先生からのメッセージ～

４月 11 日（金）は離任式でした。今年この二中を去られた先生方が来てくださり、皆さんへのメッセージを伝えてくれました。学年の先生として１年間関わってくれた□□先生・□□先生・□□先生・□□先生、音楽の授業でお世話になった□□先生、クラブや委員会活動等でお世話になった□□先生・□□先生・□□先生……。少し日は経ちましたが、先生方がお話しされた内容を覚えていますか？

□□先生は「出会いの大切さ」について話をしてくださいました。“出会い”や“縁”というのは本当に不思議なものです。皆さんも、この二中での“出会い”を大切にしてください。

□□先生は、様々な場面で助けてくれた皆さんへの「感謝」を伝えてくださいました。そして、「一瞬一瞬が大切」という話もありましたね。辻坂先生からも「時間は皆に平等」で、それと同時に「やり直すことはできない」と話してくださいました。

□□先生からは「チャンスの神様」という話もありましたね。チャンスの神様は、球体でつるつるしていて、長い前髪しかないそうです。後ろ髪はないので「逃したらつかむことはできない」。いつチャンスの神様が訪れてもいいように、その時を待って、つかむ準備をしておきましょう。

□□先生は壁にぶちあたったとき、信じるのは自分の能力ではなく「可能性」。その力を君たちは持っている、と伝えてくれました。

そして、どの先生方もおっしゃっていましたが、二中生は元気があります。出会った人にあいさつができます。素直に話を聞くこともできます。そういった良いところをたくさん持っているのです。その良いところをどんどん活かしていってほしいと思います。

たくさんの先生方がお話をされる中で、印象に残った言葉があります。「つないでいってほしい」という言葉です。昨年度、ブレザーなしで登下校時の防寒着着用が OK になりました。そのきっかけを作ったのは、今の高校１年生（７８期生）でした。それを今の生徒会（７９期生）が形にして、校則の改定が実現しました。次は皆さん（８０期生）がそれを受け継いで、二中を作っていくことになります。「二中をずっといい学校にしていってほしい」という言葉を実現できるように、皆さんが行動していく番です。

二中の先生たちはそんな皆さんを支えていけるように、本気でかかわってくださっています。学年の先生たちだけでなく、すべての先生が見守ってくださっています。そしてその根っこには、先生と皆さんの信頼関係があります。「信頼関係は小さなことの積み重ね」と□□先生もおっしゃっていましたね。これからもたくさん積み上げていってくださいね。